JIS K5660 つや有合成樹脂エマルションペイント

塗料塗装/難念燃材料

RM-9364

1 液水性自己架橋型アクリルエマルション塗料

# 水性スペースエース

鉄部

抜群の作業性と仕上がりに優れる

壁面木部

水性マルチ塗料

■ 用 途

建築一般鉄部および建築内外壁の上塗り塗料

鉄扉、手すり、コンクリート、モルタル、 窯業サイディングボード、 居室内鋼製建具、居室内木製建具、など

滑らかな 仕上がり フタル酸樹脂塗料同等の 塗りやすさ、平滑性のある きめ細かな仕上がり。

多用途 (マルチ性) 各種下塗りとの組み合わせで、 鉄部・外壁・木部など多部位の 上塗りとして塗装ができます。

選べる 仕上がり 艶あり、3分艶、5分艶お好みの艶が選択可能です。(※JIS K5660は艶ありのみ)

環境対応

水性塗料、F☆☆☆☆品なので 室内の塗装も安心・安全です。 艶ありはJIS規格に基づくF☆☆☆☆、艶調製品は(-社)日本塗料工業会登録のF☆☆☆☆です。

低汚染性

粘着感が少なく、架橋により緻密な塗膜を形成するので、塵や汚れが付き難く、美観保持に貢献できます。

水性スペースエース

水性シリコン

汎用 水性ウレタン

# ■適用下塗り塗料

適用面	下塗り塗料
鉄 部	水性デラスト
木 部	ラテックスプライマー#1000エコ
コンクリート モルタル	ラテックスプライマー#1000エコ シントー水性Mシーラー リフレッシュプライマーⅡ

## ■ 商 品 構 成

品 名	艶	色相	容 量	
水性スペースエース	艶あり		15kg 4kg	
水性スペースエース F4 3分艶	3分艶	白 調 色		
水性スペースエース F4 5分艶	5分艶			





## 塗 装 仕 様 例

## 【一般鉄部】

	R THYPY YOU A					
工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率 (%)	標準使用量 (kg/㎡/回)	塗回数	塗装方法	塗装間隔 (20℃)
素地調整	劣化した旧塗膜、発錆部はケレン工具を用いてを入念に除去し、活膜部はサンドペーパーなどで表面を目粗しする。油脂、汚れ等はウエスや溶剤拭きで除去し、清掃する。					
下塗り	水性デラスト (水道水)	0~5	0.10~0.14	1	はけ ローラー	3時間~7日
上塗り	水性スペースエース または 水性スペースエース F4 3分艶 または 水性スペースエース F4 5分艶 (水道水)	10~20	0.10~0.13	2	はけ ローラー	3時間~7日

## 【木部】

工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率 (%)	標準使用量 (kg/㎡/回)	塗回数	塗装方法	塗装間隔 (20℃)
素地調整	しみ、汚れ、油脂等を完全に除去し、サンドペーパーで素地を平滑にする。 やにの多い箇所、節はラックニスで補修塗装する。					
下塗り	ラテックスプライマー#1000エコ (水道水)	10~20	0.10~0.13	1	はけ ローラー	3時間以上
上塗り	水性スペースエース または 水性スペースエース F4 3分艶 または 水性スペースエース F4 5分艶 (水道水)	10~20	0.10~0.13	2	はけ ローラー	3時間~7日

### 注 意 事 項

### ■ 施丁上の注音車項

- 気温および被塗面温度が5℃以下のときは塗装を避けてください。低温時には乾燥遅延など不具 合が生じやすくなります
- 温度85%RH以上のときは塗装を避けてください。被塗面の水分によって、乾燥遅延や塗膜性能 を発揮できないことがあります
- 結露が予測される場合は塗装を避けてください。(特に早朝の結露、夕刻の降露には注意してく
- ださい。) コンクリー -ート、モルタル面への塗装は、表面含水率は10%以下(ケット科学研究所製CH-2)または 5%以下(ケット科学研究所製Hi500シリーズ)で、素地状態がpH10以下を確認してから塗装して
- 著しい吸込み面に塗装の場合は、下塗りにシントー水性Mシーラーを塗装してください。また、
- 看しい吸込の田に生安の物のはは、「生ソにノンド ハはIII ノ ニュモなして、ハにじゅ。 あん、 旧塗腹が彫刻な場合にもシーラーが必要とする場合があります。 予めご相談ください。 鉄部の塗替え時で旧塗膜がアルキド樹脂系塗料の場合、事前に入念な目粗しと試し塗りを行って、
- ドアまわりのパッキンやゴム、プラスチックなどの可塑剤を含むものと接触する部位への塗装は
- 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。 8.

## ■ 取扱いに関する注意

- 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に行わないようにしてください。
- 塗料の取り扱いは、屋外または換気の良い場所で行ってください。 必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護めがね、マスク、手袋など)を着用し、塗料が身体に付着 しないよう注意してください。
- 塗料は使用する前に電動攪拌機等を用いて、塗料缶の内容物を攪拌し均一な状態にしてください。
- さげ缶に小分けするときは、十分にかき混ぜたものを小分けし、使用するさげ缶はきれいなものを使用してください。 塗料開缶は、原則として使用する直前に行ってください。 5.
- 6.
- 無価値は、派がしてという。 開缶後や作業中断時など、塗料の入った容器には常にフタをするように心がけてください。 作業後は手洗いおよびうがいを十分に行ってください。 使用した塗装器具は、直ちに水洗いしてください。

- 下塗り塗料に「シントー水性Mシーラー」を使用した場合は、塗装器具、洗浄に用いた水との共 有使用は避けてください。 10.
- 現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない風通しのよい場所で保管してくださ 11 い。また、未開缶の塗料は出来るだけ直射日光を避け、屋内倉庫に貯蔵してください。

- 水系塗料ですので、シンナー類の混合は絶対に避けてください。 下地の形状、状態および温度、湿度、換気状況などにより、使用量増減、塗装間隔時間が変動することがあります。
- 希釈上限を超えての希釈は避けてください。隠ぺい性低下など仕上がり性に不具合が生じる場合 があります。

- 4. 建物の構造上水切りがない場合や、鉄さびやシーリング材由来の汚染物質がある場合、また汚れ が多量に集まりやすい面、窓廻り、換気扇ダクト廻り、雨のかからない場所など、施工部位により、低汚染性が十分に発揮されない場合がありますのでご注意ください。
- 常時ものが置かれる家具等(テーブル、椅子、ベンチ、棚、カウンターなど)には、色移り、粘着のおそれがあるため塗装をしないでください。
- 濃彩色や原色に近い色は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など触れる可能性がある部位への塗装は避けてください。
- 上塗りに黄、赤系など彩度の高い色を塗装する場合は、隠べい性を高めるため、共色(淡彩)に 調色した下塗りを塗装してください。 塗装方法により色が違って見える場合がありますので、ローラー塗りは、できる限り入隅まで

- 釜装方法により色が違って見える場合がありますので、ローフー塗りは、できる限り人隔までローラーで塗装してください。
  ローラー塗装の際、ローラー目は同一方向に揃えて仕上げてください。
  艶調整品は、被塗物の形状や、塗装条件(塗回数、塗り付け量、希釈率)、塗り継ぎ箇所などで、色相、艶感の仕上がりが若干異なって見える場合があります。事前に試し塗りを行い確認してください。本施工を行う際には、面を区切って通しで塗装してください。
  補修塗りは、使用された塗料と同一ロットのものを、同一の塗装方法で実施してください。(使用する塗料の控えを必ず取っておいてください。)
  協体塗料はは、使用さかまが取っておいてください。)
- 12. 補修塗装時には色や艶が異なって見えることがあります。試し塗りの上、本塗装を実施してくだ
- 13. 塗装中または塗装終了後塗膜乾燥中は、換気を十分に行ってください。

## ■ 緊急時の対応

- 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 日に入ったとさには、多量の不で洗い、できるたけ早く医師の珍殊を受けてください。 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い。落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、 できるだけ早く医師の診察を受けてください。 蒸気、ガス等を吸入した場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。 容器からこぼれた場合や飛散した場合は、砂、布(ウエス)などで拭き取ってください。

使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄 物として廃棄してください。(河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。)

- 塗料の保管は関連法規を遵守してください
- 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 容器はつり上げないでください。

※ 安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照ください。※ 必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。※ ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。

# くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング

本 社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号 **雷**(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ -

北海道 **☎**(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199

北 陸 ☎(076) 262-1305 FAX (076) 262-1315 四 国 ☎(0897) 65-4550 FAX(0897) 65-4576

東 北 **☎**(022)353-6951 FAX(022)353-6952 東京 **☎**(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553

名古屋 **☎**(052)612-0293 FAX(052)612-0318

九 州 **☎**(092)472-2222 FAX(092)473-5777

大阪 **☎**(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268 静 岡 **☎** (054) 245-0135 FAX (054) 247-4091 中 国 **☎**(082)264-6822 FAX(082)264-6821

https://www.shintopaint.co.jp/